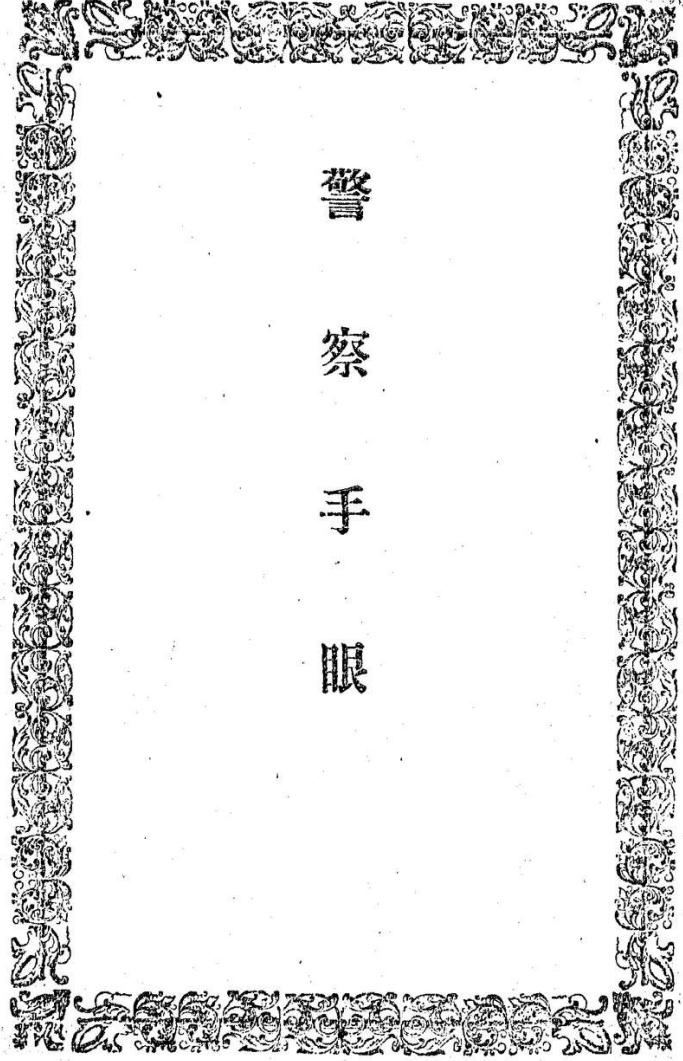
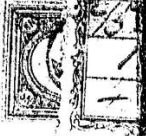


7x645



警  
察  
手  
眼

特47

416

警  
察  
手  
眼

明治十二年十月廿四日版權屆

警視局藏版



緒言

吾長官川路君僚屬ヲ諭ス毎ニ劄記スル所ノ片  
言隻字積テ堆ヲ成ス予其散逸ヲ惜ミ植松直久  
ニ囑シ類次セシム頃日編纂成ルヲ告ク展テ之  
ヲ讀ム其文字タル華麗ノ辭ヲ飾ラズ的確明瞭  
所謂一棒一條痕一摺一掌血ノミ乃チ之ヲ名ケ  
テ警察手眼トス蓋シ手快眼明ノ意ニ取ルト云  
爾

明治九年九月下旬 權中警視丁野遠影識

警察手眼

川路大警視 述

佐和 正 校閱  
植松 直久 編纂

警察要旨

一 行政警察ハ豫防ヲ以テ本質トス則人民ヲシテ  
過チナカラシメ罪ニ陥ラザラシメ損害ヲ受ケ  
ザラシメ以テ共同ノ福利ヲ増益スルヲ要スル  
也

二 海陸軍ハ外部ヲ護スル甲兵也警察ハ内部ヲ補  
フ藥餌也敵國外患ハ兇暴威迫ノ徒也此等兇徒

二  
ノ爲ニ威迫セラレシニ強壯健全ナル筋力ヲ以テ挺刃ヲ自在ニ使用シ一身ヲ守護セザルベカラズ若夫平常ノ保養ナク身體羸弱ナルガ如キハ如何ナル精良ナル挺刃アルモ之ヲ使用スルノ氣力ナクシテ終ニ其斃ルヽヲ俟ノミ然レバ人身ノ健全モ國家ノ健全モ其理一ニシテ此健全ヲ保ツハ皆平常ノ治療ニアリ故ニ警察事務ノ皇張ハ我日本帝國ノ健全ヲ大ニ攝養スル所以也

三  
一國ハ一家也政府ハ父母也人民ハ子也警察ハ

其保傅也我國ノ如キ開化未ダ治チカラザルノ民ハ最モ幼者ト看做サヅルヲ得ズ此幼者ヲ生育スルハ保傅ノ看護ニ依ラザル可ラズ故ニ警察ハ今日我國ノ急務ト爲サヅルヲ得ザルノ理アル也

四  
警察官タル者ハ能ク行政司法兩警察ノ權限ヲ領會ス可シ其一例ヲ擧ン爰ニ人アリ爭鬪ヲ生ゼリ之ヲ停止和解スルハ行政ノ權也既ニ毆傷ヲ爲ス者ヲ捕押スル等ハ司法ノ權也其事相牽連シ一人ニシテ兩箇ノ權ヲ行フト雖モ判然區

職アル者トス

五 東京地方長官ハ他府縣長官ノ行政權ヲ一統轄  
ニ歸スル者ト頗ル其體裁ヲ異ニセリ何トナレ  
ハ警視廳東京府兩立シテ行政事務ヲ分任シ而  
テ警視廳ハ警察ノ政ヲ行フ者ナレバ也  
六 國法汎論ニ曰命令或ハ禁止ノ權ヲ施行スル事  
ノ緊要ナルニ方テハ權力ナル警察專ラ主トナ  
リテ事務ハ之ニ從屬ス權力ナル警保決シテ事  
務ニ隨行スルニアラズト格言ト謂フベシ  
警察官ノ心得

四

七 警察官ハ眠ル事ナク安坐スル事ナク晝夜企足

シテ怠タラザルベシ

八 非ヲ治ルニハ理ヲ以テセザルヲ得ズ治ヲ保ツ

ニハ非常ノ警ナクンバアルベカラズ譬バ酒ヲ  
煖ルニ其酒ノ温ニ勝レル湯ヲ以テセザレバ其  
酒煖ル者ニ非ス凡ソ事物ハ皆其勝ル所ヲ以テ  
爲スベシ故ニ人ヲ警ル者ハ先ツ己ニ非常ノ警  
アリテ以テ人ニ及スベシ

九 警察官ノ心ハ總テ仁愛補助ノ外ニ出デザルベ  
シ是ヲ以テ警察權ノ發動モ亦總テ仁慈ノ外ニ

五

六  
出ズ故ニ警察官タル者ハ人民ノ憂患ヲ聞見ス  
ル時ハ己レモ其憂ヲ共ニスルノ心ナカルベカ  
ラズ

〇一  
警察官ハ人民ノ爲ニハ保傅ノ役也故ニ人ノ我  
ニ對シテ如何ナル無理非道ノ舉動アルモ道理  
ヲ以テ懇切ヲ盡シ其事ニ忍耐勉強スベシ  
若シ某官ノ我警察權ヲ論ズル者アレバ之ニ答  
テ曰ン我ハ安寧ノ保護官也我レ君等ニ對シ平  
和ヲ破ラズ君等ハ我ニ對シテ平和ヲ保タンヤ  
我ハ信ズル能ハザル也

二一  
世ノ安寧ヲ護セントスル者ハ無事ノ日ニ於テ  
有事ノ日トシテ怠ラザルニアリ  
三一  
國家ハ無形ノ一人也不逞兇惡ノ徒ハ其病患也  
警察權ハ其健全ヲ養フ平常ノ治療也而シテ法  
官ハ醫師也法律ハ藥種也警察豫防ノ力及ハズ  
シテ罪犯ヲ捕ヘ法官ニ付スルハ即醫師ニ渡ス  
也其裁判ヲ爲スハ適當ノ藥ヲ與テ之ヲ療スル  
也其違註犯ノ如キハ誠ニ微恙ニシテ警察官之  
ヲ處分スル則手藥ヲ以テ療スル也  
四一  
人ヲ警ルノ官タル者ハ忍耐勉強ニシテ常ニ己

レノ液汁ヲ公衆ニ濺ガズンバアル可ラズ  
警察長ハ政務ヲ執行センヨリ寧ロ之ヲ監察ス  
ベク之ヲ監察センヨリ寧ロ之ヲ指令スベシト  
佛國有名ノヴヒマン氏ノ論如此蓋シ警察官  
タル者ノ性質ハ己ムヲ得ザルヲ除ク外政務執  
行ヲ好マザル也

人民ハ兒輩也警察官ハ其傅也兒輩ヨリ悖戾  
ノ行ナギテ保タズ故ニ警察官タル者ハ職務上  
如何ナル兇暴ノ人ニ逢フトモ決シテ心ヲ攪亂  
シ憤怒ヲ發スルガ如キノ舉動アルベカラズ若

シ此輩ト怒リ争フトキハ則其兒輩同等ノ一私  
人タル者ニシテ警察保護ノ職務ヲ棄タル者ト  
ス深ク戒メザル可ラズ  
警察官ハ人民ノ爲ニハ其依頼スル勇強ノ保護  
人也故ニ動カズ驚カズ輕々シク人ヲ譏譽セズ  
忍耐忠直ニシテ能ク品行ヲ慎ミ以テ威信ヲ收  
ルヲ要ス

凡ソ警察官ノ人民ヲ待遇スルハ丁寧懇切ヲ極  
メ恰モ孺子ノ傅姆タルガ如クニシテ之ヲ愛慕  
セシムルニ在リト雖モ亦執泥セザルヲ要ス若



〇二 九一

シ此ニ泥ム時ハ却テ其喪侮ヲ招キ警察權ヲ汚  
 スノ弊害ヲ醸成スベシ故ニ警察官ハ常ニ丁寧深  
 切ヲ主意トシテ人民ト狎レズ人民ハ警察官ヲ  
 慕テ之ヲ侮ラズ狎ト侮トノ二ツヲ兩間ノ境界  
 トシ相持シテ侵スヲナキヲ要ス  
 凡ソ事務ニ現場實況ヲ聞見シテ知ル職務ト人  
 ノ届出ルヲ待テ行フ職務トノ區別アリ能ク之  
 ヲ察スベシ  
 人ヲ正スノ官ニ在ル者ハ常ニ其至大至剛ノ氣  
 ヲ養ヒ所謂浩然ノ正氣ヲ以テ他ノ不良心ヲ討

二二 一ニ

伐セザル可ラズ故ニ若シ此正氣ナキ者ハ人ヲ  
 討伐スルノ權ナキハ勿論ニシテ却テ人ニ討伐  
 セラルベシ然レバ一ノ品行ヲ失スレバ輒チ自  
 ラ其權力ノ一部ヲ剝脱セシ者トナルベシ  
 警察官ハ人民ノ爲ニハ勇強ノ保護人ナレバ威  
 信ナクシテハアアル可ラズ其威信ハ人ノ感ズル所  
 ニアリ其感ズル所ハ己レノ行フ所ノ危難ノ價  
 ニアリ即チ人ノ耐ヘ難キ所ヲ耐ヘ人ノ忍ビ難  
 キ所ヲ忍ビ人ノ爲シガタキ所ヲ爲スニ在リ  
 口ニ開化ヲ唱テ身開化ノ行ナキ者口ニ警察ヲ

唱テ身警察ノ行ナキ者姿ニ警察ノ徽章アリテ  
心警察ノ人トナラザル者アリ猛省セザル可ラ  
ズ

三二

人ヲ統御スルノ官ニ在ル者ハ總テ公正ノ二ツ  
ニ由ラザルヲ得ズ然ルニ私愛ヲ以テ下ヲ撫レ  
人望ヲ收メ黨與ヲ結ビ漫リニ己レノ顯達ヲ目  
的トスル者アリ此等ハ理ト法トヲ曲テ一身ノ  
威福ヲ恣ニセントスルノ私心ヨリ出ル者ニシ  
テ國家ニ對シ大ナル弊害アリ此ノ如キノ人ハ  
其事ニ黨セズシテ多ク其人ニ黨スル者也

四二

國長ヲ補助シテ國光ヲ輝カサントスル者ト己  
レ其國ヲ占メテ國長トナラシムル事ヲ目的トスル  
者トハ大ナル徑庭アリ例ヘバ「華聖頓」ノ私慾ヲ  
棄テ公眾ヲ利シ大德望ヲ得ルニ及テ猶其國ヲ  
私セズ我ガ衆民ヲシテ獨立自主ノ人タラシメ  
シヲ庶幾スル者アリ又一世「ナポレチン」ノ如  
ク衆望ヲ得テ國ヲ己レニ占メシヲ謀ル者ア  
リ抑君主國長ニ隸屬スル者ハ理ト法トヲ遵奉  
シ一己ノ毀譽ニ關セズ公正忠直ニシテ其職務  
ニ斃ル可キ也

凡ソ各人皆自主自立ヲ目的トシ人ノ權利ヲ妨ルヲ得ズ就中警察官吏ノ如キハ人ヲ警ルノ官ニシテ他ノ標準タルベケレバ各自其分限ニ安ンシ己レ十分ノ獨立ヲ爲シ其餘光ヲ人ニ及ボス者ト心得ベシ

政府ノ人民ヲ世話スルモ父母ノ其子ヲ心配スルモ他ニ非ズ只各自ヲシテ其自主自立ヲ得セシムルニ止ルノミ其既ニ自立スルヤ事物ヲ交換シ互相ノ便益ヲ爲サズルヲ得ズ是交際ノ由テ起ル所也此交際ニ依リ不長ノ人アリテ他ノ

權利ヲ妨ル等ノ弊アレハ此ヲ防クノ國法ナキヲ得ズ即チ政府ナキヲ得ザル所以也夫レ一人ノ各人ニ對スルモ一國ノ各國ニ對スルモ其理此ノ如シ抑國ニシテ負債アレバ獨立ノ光榮ヲ減殺シ人ニシテ負債アレバ亦自立ノ權ヲ屈スベシ故ニ曰己レガ受ケタル恩義ハ無形ノ負債也己レガ作シタル借財ハ有形ノ負債也今夫レ分身ノ子ニシテ其父母ヲ養フハ其生育セラレタル負債ヲ父母ニ償フ也負債ヲ償却スル事父母猶ホ此ノ如シ況ヤ其他ニ於テナヤ若シ此有

形無形ノ負債ニシテ償却セザル時ハ一ハ道德ニ責メラレ一ハ政法ニ責メラル然ラバ則品行何ニ由テ脩ラン警察官ハ深ク思テ茲ニ致ス可キ也

七二

一度職ヲ奉セシ以上ハ其分ニ斃而後曰テ目的トスベシ事變ニ際シ心ヲ動シ或ハ其名ノ潔ニ遁ル等ノ事ヲ爲ス可カラズ抑無官ノ處士ナル時ハ其急ナルニ向フハ自ラ當然ナリト雖能仕官ヲナセシ者大事ニ臨ミ己レガ官署ヲ棄テ、氣隨ニ方向ヲ變スルハ名利ニ走り且一身ヲ潔

八二

クシ其妨害ヲ貽スヲ願ミザルノ賊タルヲ免カレザルベシ  
官員ハ元來公衆ノ膏血ヲ以テ買ハレタル物品ノ如シ故ニ其價ニ適當スル功用ヲ爲サズンバアル可ラズ若シ此功用ナキ者ハ其買主ナル公衆ニ疎マレ又其物品中ニモ猜マル、無論也故ニ官員タル者ハ今日勤ル所ノ效用其價ニ適スルヤ如何ヲ比較スルヲ要ス若シ此ヲ比較スレハ果シテ適セザル者多カラン然ラバ官員ハ都テ天下人トシ欺クノ罪ナキ能ハズ西人曾テ嘗

ヘルヲアリ曰汝ガ食フ所ノ粟ハ額上ノ汗ト爲  
 セヨト能ク此ノ意ヲ玩味シ常ニ勉強刻苦シテ  
 其額上ノ汗ヲ絶ヘズ人民ニ濺ガズンバアルベ  
 カラズ  
 人ノ不平心ハ身ヲ害シ或ハ世ノ禍トナル者ナ  
 レバ恐レ慎マズンバ有ルベカラズ古人有言曰  
 憂患ニ生キ安樂ニ死スト然レバ安樂ハ却テ不  
 幸ノ基ナレバ艱難ハ汝ヲ玉ニスルト云フ格言  
 ナ服膺シ以テ千辛萬苦ニ安ンズルヲ要ス世人  
 或ハ事ノ曲折ニ因テ瑣末ノ事ヨリ不平ヲ起シ

生涯ノ榮譽ヲ毀損スルハ思ハザルノ甚キ者也  
 殊ニ官途ニ登ルノ齡ハ中年ニ下ラザルベシ斯  
 ル妙齡ニシテ再ビ補フベカラザルノ身トナル  
 ハ亦痛マシカラズヤ人生今年今日ハ再ビ來ラ  
 ザルヲ覺知シ能ク耐ヘ能ク勤テ怠タラザル時  
 ハ必ヤ無限ノ幸福ヲ得ン  
 一度警察官タル以上ハ従前ノ長袖ヲ着シ宴飲  
 快樂ヲ恣ニスルハ到底得ベカラザレバ各其陋  
 心ヲ斷絶シ天然固有ノ良心ヲ復シ職務ヲ勉勵  
 シ國家ヲ開明ニ致スヲ以テ歡樂ノ地トスル時

ハ己レノ幸福ハ言迄モナク國家無疆ノ幸福ナ  
ラン

警視官等級ノ別

僚屬ヲ使用スル依怙偏頗ナク命意平等ナルベ  
シ

部下僚屬ニ接スル公ヲ以テシ決シテ私ヲ以テ  
スベカラズ殊ニ無名ノ惠ヲ爲シ姑息ノ仁ヲ行  
フベカラズ何トナレバ幾百圓ノ厚給ヲ得ルモ  
元來限リアルノ資ヲ以テ限ナキ情ニ償ハン事  
到底得ベカラズ強テ是ニ惠マントセバ之ヲ親

一三

二三

疎區別セザルヲ得ズ是則人心離反ノ基也苟モ  
一身同體ト見テ國家ニ從事スベキ部下ニ對シ  
愛憎ヲ用テ可ナラン乎

私心

理ト法トヲ曲テ己レ一人ノ譽ヲ求メ毀リテ  
恐ル者

人ノ權利ヲ竊ンデ己レガ權利ヲ飾ル者

人ノ權力ヲ借テ己レガ聲名ヲ求ル者

人ノ權力ヲ拒ンテ己レ之ヲ攘ム者

上官ハ父兄也屬僚ハ子弟也上官ハ事理ニ明カ

四三

三三

五三

ナル者トシ下官ハ及ハザル者トス故ニ上官ハ  
 下官ヲ監視スルノ權アリ  
 下官ハ上官ノ監督ヲ受ル者也何トナレハ其監  
 督スルノ趣意タルヤ過誤失錯等ヲ豫防スルノ  
 仁慈ニ出ル者ニシテ兼テ任シタル職權ヲ汚サ  
 シメザルヲ要スレバ也

六三

大監視ハ中監視以下ヲ監視シ中監視ハ少監視  
 以下ヲ監視シ少監視ハ警部以下ヲ監視シ警部  
 ハ巡查ヲ監視ス皆仁慈ノ意ヲ以テスル者也  
 下官タル者ハ能ク其長上ニ從順シ其命令ヲ受

七三

八三

テ之ヲ贊助スルノ義務アリトス巡查ハ警部補  
 ナ助ケ警部補ハ少警部以上ヲ助ケ少監視ハ中  
 監視以上ヲ助ケ中監視ハ大監視ヲ助ル者トス  
 皆從順ヲ旨トシ上官ノ心得ベシ  
 長上ノ命令ハ篤ク之ヲ信認シ其代人ト爲テ下  
 官ニ達スベシ下官ノ上申ヲ執達スル己レ其下  
 官ト上官トノ間ニ中立シタル周旋人ト爲リ其  
 情實ヲ詳ニシ具申スベシ若シ其上申ノ成規ニ  
 悖リ又ハ非理ニ出ルヲ見認ル如キハ說諭シテ  
 此上申ヲ止ル事アルベシ決シテ下輩ノ意ニ泥

九三

ミ之ト黨與スベカラズ蓋シ命令ハ信シテ下ニ  
 布キ上申ハ斟酌シテ具申スルヲ云フ是則上ヲ  
 明トシ下ヲ不及トスルノ道理アレバ也  
 俸給ノ厚薄ニ依リ其任ズル所ノ効用モ亦厚薄  
 アル也夫レ官祿ハ日々己レガ任ズル課業ノ價  
 ナレバ必其價ニ適スル効用ナクンバアルヘカ  
 ラス  
 等級ノ重キハ其重キ程其責ノ重キニ任シ其勞  
 ニ服セスンバアルヘカラズ曰我官俸ハ彼ニ増  
 サレリ今勤ル所モ亦必彼ニ勝サル効勞ナカル

〇四

ベカラズ今彼レ一時間ヲ勤レバ我ハ二時モ三  
 時モ勤ムベシ彼レ一事ヲ爲サバ我ハ二事モ三  
 事モ爲サズンバ何ヲ以テカ彼ノ上ニ居ランヤ  
 或ハ此ニ反對スル心得違ノ者アリ曰我等級ハ  
 彼ニ勝レリ我一度事ヲ行ヘバ彼ハ二度モ三度  
 モ行フベシ我ハ貴上也彼ハ卑下也彼ハ我ニ從  
 フベシ我ハ彼ヲ使役スベシ我何ゾ彼ト勞ヲ同  
 フセンヤト抑人ノ上ニ居ル者ハ己レ何程骨折  
 スルモ人ニ對シ決シテ己レノ勞ヲ説クベカラ  
 ズ



己レ價ナクシテ漫ニ不適當ノ昇進ヲ好ム者ハ  
 自ラ其名譽ヲ汚サンコトヲ好ム者也何トナレバ  
 己レニ拾圓ノ價ニシテ三拾圓ノ俸ヲ得ルルハ  
 則己レハ貪慚ニ陥リ官民ニ其損耗ヲ負ハシム  
 故ニ必ヤ怨望誹譏セラル者トナラン若シ己  
 レ三拾圓ノ價ニシテ二拾圓ノ俸ヲ得ル如キハ  
 拾圓ハ己レヲ損シテ官民ニ益スル故ニ必ヤ世  
 ニ信用セラル疑ヲ容レザルベシ譬バ爰ニ一  
 等巡查ニ適當ノ人アラン此ヲ四等巡查ニ置カ  
 バ必人望アラシク若シ此ヲ非常ニ拔擢シテ警部

ト爲スガ如キハ忽不人望ノ人トナラン如何ト  
 ナレバ其適當ノ價ヲ超過シタルニ在レバ也夫  
 レ官員ハ公衆ノ膏血ヲ以テ買ハレタル物品ナ  
 レバ其價丈ノ効用ナクンバ人民ニ疾惡ヲ受ル  
 ハ言ヲ竣タザルベシ是ヲ以テ其勤勞大ニシテ  
 其俸給少ナルハ必人望アリテ安宅ニ住スル者  
 也故ニ苟モ志氣ヲ養ヒ眞誠ニ國家ニ盡サント  
 スル者豈自ラ昇進ヲ求ルノ理アラシヤ其然リ  
 故ニ其價ナクシテ昇進セントスル者ハ其名譽  
 ヲ棄テ却テ怨望ヲ求ル者也

當今官員中己レ本分ノ職掌ハ第二第三套ニ付  
 シ常ニ權門勢家ニ出入シ諸官員ト交和ヲ求メ  
 巧ニ己ガ榮利ヲ謀ルヲ以テ務トスル如キ時弊  
 ノ甚キ者アリ豈長大息ノ至ナラズヤ  
 巡査ニ於テモ亦其等ノ高下ニ依リ各心得アル  
 ベシ則一等等ト二等ハ何ノ爲ニ高下アルヤ二等  
 ト三等トハ何ノ爲ニ高下アルヤ三等ト四等ト  
 ハ何ノ爲ニ異ナルヤヲ能ク考察スベシ夫レ等  
 級ノ高キ者ハ其高キ丈ケ賢ナラズンバアルベ  
 カラズ其給ノ多キ者ハ其多キ丈ケ勞ナクンバ

アルベカラズ  
 部長心得  
 公權  
 部員ノ勤怠行狀品等才藝等ヲ諳記シ上官ニ  
 申供スル事  
 命令ヲ下達シ下情ヲ上報スル事  
 部長タル者ハ其責ノ重ニ任シ自ラ其困難ニ當  
 リ其事ニ堪ル必其部員ニ勝ルノ器量品等ナク  
 シバアルベカラズ然レモ己レ勉勵スルヲ以テ  
 其部員ヲ責ル者ニアラズ己レ其責ニ任シ安ン

シテ職ヲ盡スヲ要ス  
助官ハ順從ヲ以テ長上ニ事ヘ事故アレバ其勞  
ニ服シ己ガ譽ヲ長上ニ譲リ長上ノ難ハ己レニ  
任シ常ニ上官ヲ安心ノ地位ニ置カンヲ務ム  
ルニアリ

部員ノ爭論ヲ聽ク心ニ偏黨ナク能ク兩方ノ情  
實ヲ得テ公平ニ決スベシ

部員ノ上申ヲ取次ニハ其事實ノ成規ト道理ト  
ニ叶フヤ否ヲ熟考シ然後ニ具申スベシ決シテ  
部下ノ意ニ黨シ偏依シテ上官ニ迫ル等ノ事ア

ルベカラズ其部ノ議席ニ臨ムニハ議長タルヲ  
以テ議員ト討論スルヲナク必先ヅ議員中ニ討  
議熟論ヲ爲サシムベシ  
上官ノ爲ニハ助官ト爲リ部下ノ爲ニハ指揮官  
ト爲リ或ハ又其中間ニ立テル周旋人タルヲア  
ル可シ

部下ニ臨ムニハ言ヒ難キ所ヲ云ヒ爲シ難キ所  
ヲ爲シ堪ヘ難キ所ヲ堪ルハ兼テ任ゼラルノ所  
ノ職務ナリト心得決シテ怠タルベカラズ  
陰ニ部員ヲ愛憎シ以テ黜陟ヲ具申シ或ハ其未

發ヲ洩シ且理ニ背キ法ヲ曲ケ己レノ譽ヲ求メ  
 毀ヲ避ル如キ卑劣ノ心アルベカラズ  
 公則私則ノ別

公則ハ警視廳ノ制規ナリ私則ハ自守ノ盟約  
 ナリ之ニ違フ者假令ハ盟約ニテ禁ゼシ會合  
 宴飲ヲ犯セルハ内犯也人民ヘ對シ妨害ヲ爲  
 シ或ハ無禮粗暴ノ所爲有ル如キハ外犯也外  
 犯ハ人民ニ罪ヲ受クル者ニシテ重キニ屬シ  
 内犯ハ只同僚中ニ罪ヲ得ル者ニシテ輕キニ  
 屬スル者ナリ

署長心得

署員ノ職務規則進退行狀等ニ付不行届アレバ  
 責ヲ少警視ニ受ル者トス

甲乙丙一部ノ當直中ニ決セザル事務ハ皆署  
 長ノ權ニ歸ス

公務ノ都合ニ依リ出勤時限遲速アルベシ  
 署長ハ其署ノ警部以下職務上ヨリ生ズル争事  
 アレバ務テ之ヲ解説スベシ但シ己レト警部等  
 ト對向スル争論ハ必上官ノ裁斷ヲ仰グ者ト心  
 得決シテ己レノ意見ヲ主張シ無理ニ壓伏ス可

五五

カラズ如何トナレバ己レ其被告人ニシテ自ラ  
 其事ノ裁判ヲ爲スベカラザルヲ以テ也  
 黜陟賞罰或ハ職務規則等ノ施行ニ付部下ノ者  
 不服ヲ唱テ署長ノ意見ヲ聞ント追ル如キハ權  
 外ノ尋問無用ナルヲ以テ說得ス可シ猶ホ承服  
 セザル時ハ我ハ我ニ任セラレタル職權ヲ行フ  
 耳若シ此ニ不服ナレバ即我ハ君等ノ爲ニ被告  
 人也被告人ナレバ此事ヲ辨明スルノ理ナシ君  
 等モ亦署長ヲ糾問スルノ權ナカルベシ此上ハ  
 宜ク長官ノ裁可ヲ仰クノ外ニ道ナシト答テ直

ニ此事ヲ上申スベシ

巡查心得

六五

上官ノ命令ヲ遵守シ能ク其勞ニ服シ任ニ堪ヘ  
 治スルヲ目的トスベシ

七五

上官ヲ補助スル深切ナル心ハ我レ補助官タル  
 限リハ此上官ヲシテ其職ヲ安全ナラシメンコ  
 シ保任スベシ上官ニ失體アレバ己レ其補助ノ  
 足ラザル者トシ外ニ向テ耻チ内ニ取テ己ヲ責  
 ベシ

八五

己ガ失體ハ上官ノ失體也上官ノ失體ハ己レノ

失體也ト心得ベシ  
 僚友ハ素ヨリ互ニ切磋琢磨ノ交義アリト雖モ  
 公私ノ兩則ヲ犯セル以上ハ決シテ曲庇ス可カ  
 ラズ何トナレバ公私ノ兩則ヲ犯シ六千人ノ體  
 面ヲ汚ス罪人ナレバ也  
 自守盟約ハ各自ノ胸臆ヲ以テ誓ヘル者也決シ  
 テ人ヲ見倣フベカラズ既ニ其盟約ヲナスノ條  
 款ニ違フ可キノ事ハ縱令幾多ノ人ニ勸誘セラ  
 ルモ決シテ同意スベカラズ  
 巡査ノ職タルヤ無位薄祿ニシテ其品行ハ勅奏

高貴ノ官ヲ凌キ其勉強ハ數十圓ノ俸給ニ價ス  
 是ヲ以テ今ヤ公衆ノ依信ヲ受ルニ至ル豈美ナ  
 ラズヤ  
 今巡査六千ノ人民ニ信ゼラルハ平生國家ノ  
 爲ニ其分限ニ超ヘタル勉強且品行アレバナリ  
 若シ此六千ノ巡査ヲシテ總テ八九等ノ官祿ヲ  
 受ケシメバ人民ニ於テ決シテ嘆美スル者ナカ  
 ルベシ  
 巡査ノ職務タルヤ三晝夜七十二時間ノ内一人  
 各二十四時間ヲ勤ム其餘定日ノ練兵アリ又受

持戸口ノ調ベアリ加ルニ其品行ヲ失スレバ私  
則ニ責ラレ職務ニ違ヘバ公則ニ責ラル其嚴束  
ナル推シテ知ルベシ

四六

他ノ官吏ハ三晝夜七十二時間ニ拾八時間ヲ勤  
ルガ如シト雖モ其内土曜日アリ日曜日アリ若  
干時間ヲ減却ス而シテ其出勤ノ時間運速アル  
モ其責ナク且不品行アルモ只一般ノ國法ニ觸  
ルノ外責ル者ナシ其寛ナル亦知ルベシ  
然レバ巡查ハ七十二時間ノ内他ノ吏ニ比スレ  
バ六時間餘計ノ勤アリ則三日ニ一日ノ過勤也

五六

之ニ練兵ト戸口調ヲ加ル時ハ又若干ノ時間ヲ  
増スベシ

六六

他吏ハ休暇ヲ差除スル時ハ拾八時間ノ内又若  
干ヲ減却スベシ巡查ノ嚴束ナル勤ト日ヲ同フ  
シテ論ズ可カラザル也

探索心得

七六

警察官ハ善人ヲ探知スルノ深切ナルヲ亦兎徒  
ヲ探索スルガ如クスベシ

八六

探索ノ道微妙ノ地位ニ至テハ聲無キニ聞キ形  
無キニ見ルガ如キ無聲無形ノ際ニ感覺セザル

ヲ得ザル也

怪キ事ハ多ク實ナキ者也決テ心ヲ動カスベカラズ然レモ一度耳ニ入ル者ハ未タ其實ヲ得ズト雖モ亦怠タラザルハ警察ノ要務也

探索人若クハ告發人等ノ片言ヲ信シ心ヲ動シ決シテ疎忽ニ手ヲ下スベカラス必ヤ双方ヲ照合シ其實ヲ得テ然後ニ手ヲ下スベシ

隱密ノ探索ニハ不容易ノ事件アレバ能ク其事ヲ察レ其事ニ堪ヘ得ベキ人物ヲ選ムニアリ而シテ其人物ニ種々ノ長所アリ左ニ述ブ

各國ノ動靜及實際上ニ明カナル人

國內ノ人物ヲ諳記シ其心術向背等ヲ熟知セ

シ人

内外商法交易上ニ達セシ人

謀反不逞ノ徒ニ容レラレ其動靜ヲ察スルニ

好キ人

右等ノ徒ニ欺キ與ミシテ探ラシムルニ好キ

人

強竊盜或ハ掬摸術騙博徒密賣淫ヲ探ルニ好

キ人



探索人タル者ハ膽力強勇ニシテ表裏反覆臨機  
應變等其詐術ニ巧ミナルヲ要ス若シ或ハ暗弱  
ナル探索人ニシテ反間ニ陥ル如キハ不容易ノ  
大害ヲ醸スニ至ラン故ニ探索人ヲ選ムニハ能  
々其事柄ヲ察シ其事ニ堪ヘ得ベキ人物ヲ見テ  
然後之ヲ命ズ可シ

右等ハ其人物ニ因テ此方ノ爲サント欲スル趣  
意ノ彼ノ心ニ能ク勝テ得ルヤ如何ヲ洞察シ然  
後其術ヲ施スベシ亦其事ニ於テ臨時一舉ニ決  
セザルヲ得ザル事ト平常順序ヲ經テ徐ヤトシ

ヲ施行スル事トノ分別アルヲ能ク察スベシ  
警察官ハ其管内ノ人物ヲ注意シ其善惡正否ヲ  
精微ニ區別考察シテ怠ラザルベシ例ヘバ爰ニ  
十名ヲ舉グ其二人ハ上等其六人ハ中等其二人  
ハ下等トカ惡トカ其類ヲ能ク區別スベシ何ト  
ナレバ一人ノ性質中ニモ其長短得失種々アリ  
舉テ數フベカラズ  
人ト爲リヲ知ル事

毀譽ノ輕キ者  
受憎ノ甚キ者

喜怒ノ速ナル者

心ニ飽迄道理ヲ辨明シ口ニ發スル能ハザル者或ハ又言行ヲ顧ミ漫ニ口ニ發スルヲ好マザル者

心意勇猛ニシテ好ンデ人ヲ欺ク者

内ニ勇氣ナク才器ノミヲ以テ横着ニ人ヲ欺ク者

狀貌婦人ノ如クニシテ大膽不敵ノ者

狀貌猛者ノ如クニシテ實地ニ臨ミ見掛ナキ

臆病ノ者

己レニ過チアリ其非ナルヲ知テ改ルコトヲ爲

サズ底意地ノ強キ者

己ノ迷ヲ悟ラズ眞ニ理トシテ言ヒ張ル者

一旦言張ルモ其非ナルヲ知テ忽ニ改メ大ニ

悔悟スル者

膽大ニシテ心密ナラズ又膽小ニシテ心モ亦

小ナル者

如何ナル難ニ臨ンデモ平氣活潑ニシテ能ク

堪テ事ヲ治ル者

外ニ笑フガ如クニシテ内ニ怒ル者又外ニ怒

ルガ如クニシテ内ニ笑フ者  
 初テ難シテ終テ丈夫ニスル者又早合點ニシ  
 テ終ナキ者  
 上ニ諂ヒ下ニ苛キ者又上ニ抗シテ下ニ人望  
 ナ求ル者此弊封建政治ニ少ク當今ニ多シ  
 上ニ向テ申述スルノ器量ナク下ニ向テ上ヲ  
 非トシ下ニ人望ヲ求ル者  
 心意丈夫ニシテ口ノ利カザル者又口ノミ利  
 キテ心意ナキ者  
 強ク掛レハ弱ツテ服スル者又強ク掛レハ激

シテ服セザル者  
 穩和ニ掛レハ能ク服スル者又穩和ニ掛レハ  
 傲慢ニシテ服セザル者  
 人ノ言ヲ聞テ是非ヲ論ゼズ服従スル者(俗ニ云フ早合點也)  
 人ノ言ヲ了解セスシテ忽ニ悦ビ忽ニ怒ル者  
(俗ニ云フ一刻者也)  
 己レガ醜セン難ヲ人ニ推諉シ遁辭ヲ構ル狡  
 黠ノ甚シキ者  
 人ノ如何ナル舉動アルモ理非曲直ヲ分別シ

六七

泰然トシテ動カス穩ニ應スル者  
人ノ盛名ヲ聞キ未タ其人ヲ見スシテ鬼神ノ  
如ク恐ル者有リ如何ナル功名ノ人ニテモ  
不思議ニ人ニ勝ル者ニアラス舜何人ゾ我何  
人ゾト云ヒシ見識ナキ者ハ陋劣ノ小人ナル  
ヲ知ルベシ

事ニ臨ミ心ノ動靜ヲ見ル事

其眼色面容ヲ見其聲音言語ヲ聽キ其身ノ動  
作ヲ察シ其手足ノ措ク所ヲ視ル  
情ニ侵入スル事

七七

八七

凡ソ人ニ心ノ淺深厚薄アリ故ニ此ヲ察セズ  
シテ疎忽ニ手ヲ下スベカラズ此ヲ察スルノ  
術タル先ヅ彼ノ人ト爲リテ察シ彼ニ容レヲ  
レズンハアルベカラズ彼ニ容レラルノ術  
タルヤ其喜怒哀憎スル所ヲ察シ其心ノ趣ク  
所ニ同意シテ侵入スルヲ要ス

情ヲ動ス事

情ヲ動スノ法ハ其胸慮ヲ動シ其虛實ヲ察シ  
或ハ怒ヲシメ或ハ容レ或ハ拒ミ或ハ詐リ或  
ハ信ジ或ハ威シ或ハ慄ル等盡ク欺術ヲ以テ

情ヲ察スル事  
スベシ

賊ノ事タル他ニアラス欲ト情トノ二ツニア  
リ故ニ賊ヲ探索スルニハ賊ノ欲情ヲ共ニセ  
シ者ニ因ルヲ上策トス即彼ノ情アル婦人彼  
ノ恩アル人ノ類

事變ヲ察スル事

凡ソ探索上異變ノ狀況ヲ聞ク時ハ能々勘考  
熟察スベシ決シテ疎忽ノ舉動アルベカラス  
其横死人等ノ變アル時探索ノ方向ヲ定ル訣

ニ曰爰ニ人ヲ殺セリ此ヲ殺シテ益スル者ハ  
誰ソ

兇徒ノ心素ヨリ浩然ノ養ナク其氣常ニ飢タル  
者ナレバ右等ノ術ニ於テ必ヤ其言葉ヲ盡ス  
テ得ス亦其虚飾ヲ遂ケ得ルヲ能ハザルベシ是  
則天ト人トヲ欺キ得スシテ到底天網ヲ免レザ  
ルノ理アリトス

爭論ヲ察知スルニ道アリ例ヘバ爰ニ甲乙二人  
アラシ甲ハ平常操行正シク且實直ナレト訥辯  
ニシテ人ト爭論スルニ拙シ乙ハ平常不品行且

狡黠ニシテ雄辯快舌爭論スルニハ人ヲ言伏ス  
 ベキ勢力アリトス此ノ爭論ニ於テ甲ノ訥辯乙  
 ノ能辯ニ言伏セラレ殆ント曲ニ陷ントスベシ  
 ト雖モ警察官ニ於テ甲ノ平常實直ナルヲ以テ  
 丁寧此ヲ調ル時ハ甲ノ直ニ歸スル者アラシ  
 ク注意スベシ  
 又爰ニ甲乙二人酒席上酔テ爭論ヲ起ス者アラ  
 シ甲ハ平常實直無欲ノ善人ナレモ天性酒癖ア  
 ル者トス乙ハ平常強欲ナレモ酒ヲ慎ム者トス  
 然レバ甲ハ實直ナレモ平常酒失アルヲ以テ多

ハ甲ノ曲ナルヲ察スベシ  
 又此兩人金錢取引ノ事ヨリ爭論ヲ起セシ如キ  
 ハ平生乙ノ強慾ナルヲ以テ多ハ乙ノ曲ニ歸ス  
 ルヲ察スベシ  
 警察上右等ノ類舉テ數フベカラス此其一例也  
 餘ハ推テ知ルベシ  
 夫レ無産業ニシテ坐食スル者ハ必幾分カ良民  
 ノ權利ヲ妨ル者也故ニ此等ノ徒ハ其履歴ヲ查  
 シテ其行狀ヲ知り其友ヲ觀テ其人ト爲リテ視  
 其既往ヲ徵シテ其將來情慾ノ發動スル所ヲ察

ス是警察官ニ於テ戸口調査ノ止ム可ヲザル所  
以也

又曰凡ソ人ハ各自己レノ一身ヲ生活スベキノ  
營業ナキヲ得ズ此ヲ勵ム者ハ良民也無營業ニ  
シテ坐食スル者ハ不良民也此ノ不良民ハ幾分  
カ良民ノ權利ヲ妨クルノ理アリ故ニ警察官タ  
ル者ハ先ツ此不良民ヲ注意警戒シテ怠タラザ  
ルベシ是則兇ヲ防キ良ヲ護スルノ意也  
世ニ兇惡ノ徒ナキヲ得ズ人ニ兇惡ノ心ナキヲ  
得ズ只警察ノ手眼ヲ以テ是ヲ抑制スルノミ故

ニ曰賊ヨ汝爲サント欲セバ爲セ汝ガ爲サント  
スル所ハ我眼盡ク視ル汝ガ爲サント欲スル心  
ハ我盡ク知レリ汝能何ヲカ爲サン哉